

# 農耕作業用自動車（農耕作業用の小型・大型特殊自動車） の交通事故発生状況等について

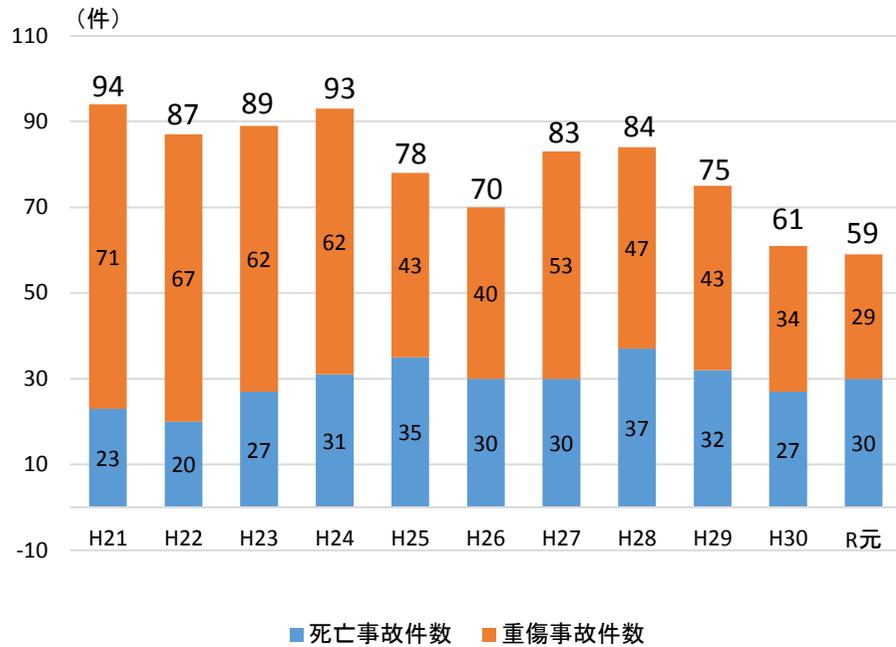
令和2年2月27日  
警察庁交通局交通企画課

（注）・本資料は、農耕作業用自動車（農耕作業用の小型・大型特殊自動車）に乗車中（運転中又は同乗中）の交通事故を分析したものである。

・数値は、単位未満で四捨五入しているため、合計等が内訳の数値の和と一致しない場合がある。

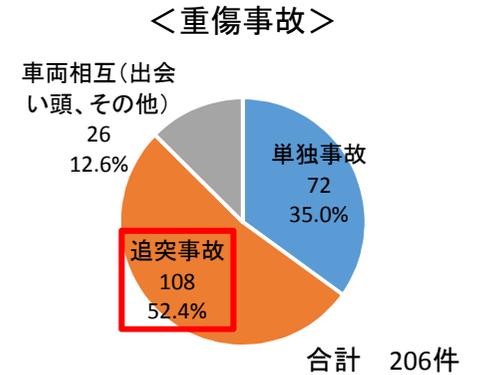
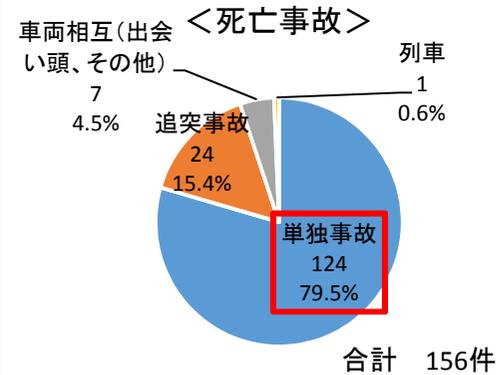
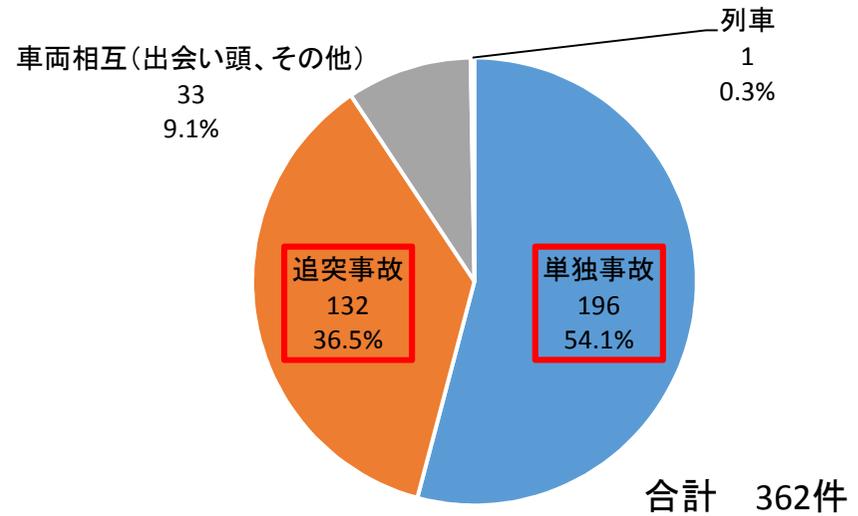
# 1 農耕作業用自動車の交通事故 ～ 死亡・重傷事故件数の推移、事故類型 ～

死亡・重傷事故件数の推移



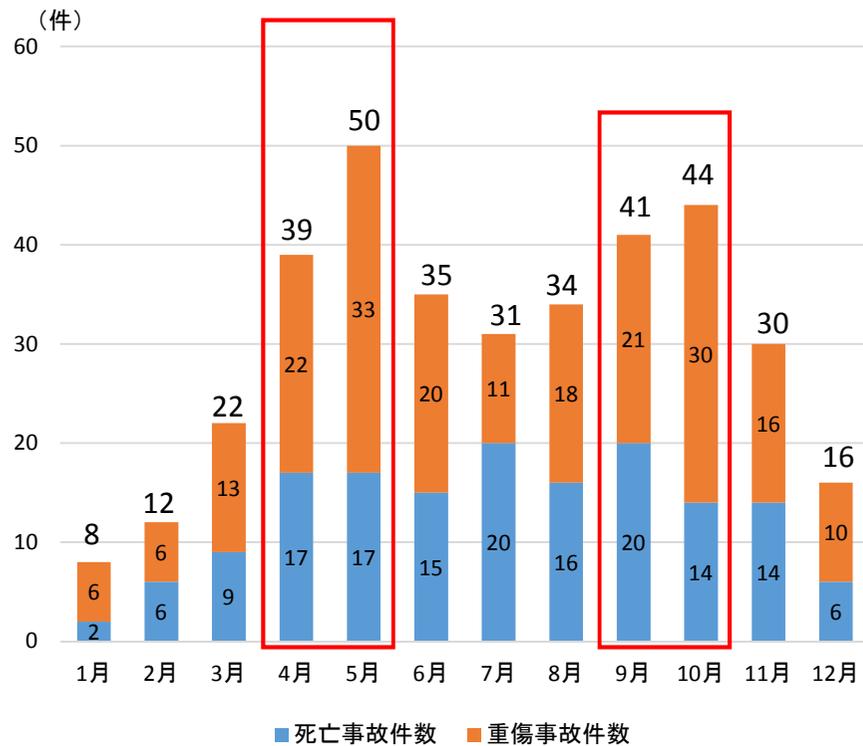
(注)・「重傷事故」とは、1箇月(30日)以上の治療を要する負傷者を出した交通事故をいう。以下同じ。

事故類型別死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)



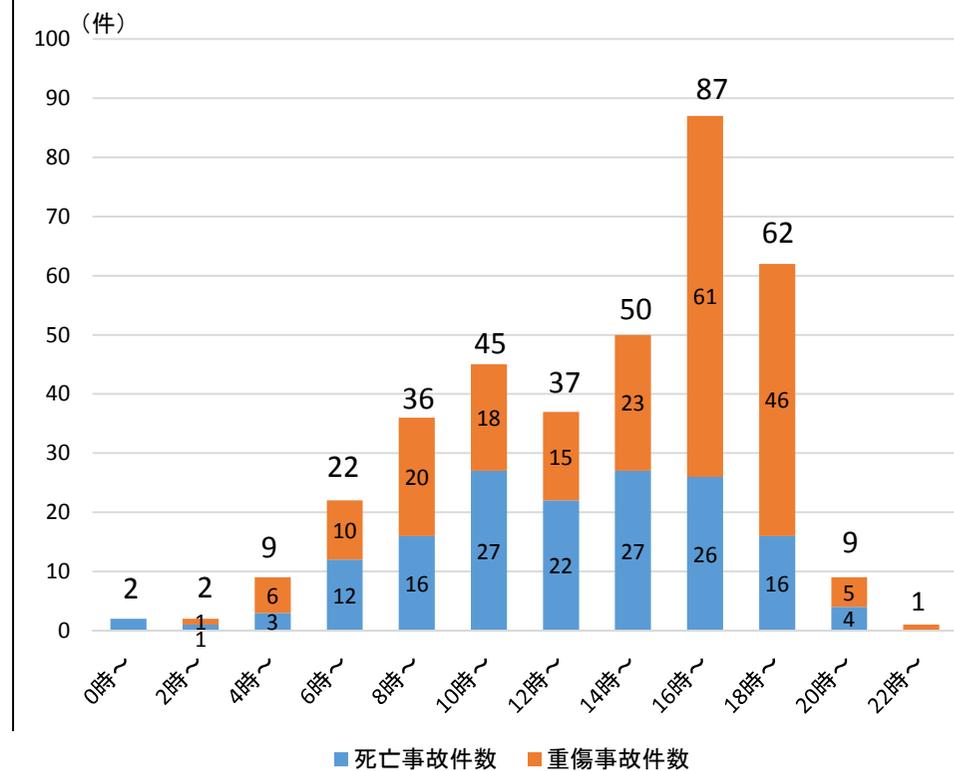
## 2 農耕作業用自動車の交通事故 ～ 月別発生状況、時間帯別発生状況 ～

月別の死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)



合計 362件

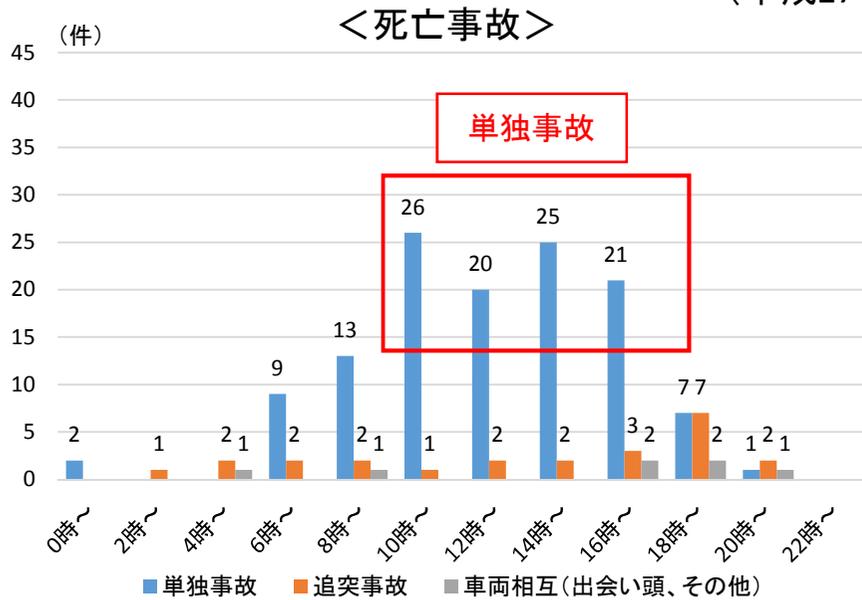
時間帯別の死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)



合計 362件

### 3 農耕作業用自動車の交通事故 ～ 事故類型別の時間帯別昼夜別発生状況 ～

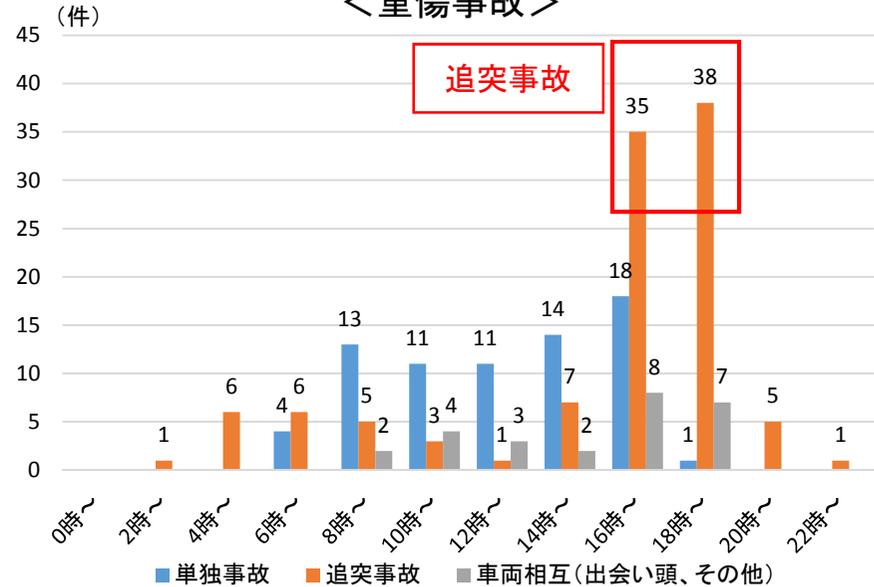
時間帯別事故類型別の死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)



(注) ・グラフには、列車事故(6時～1件)を除いている。

合計156件

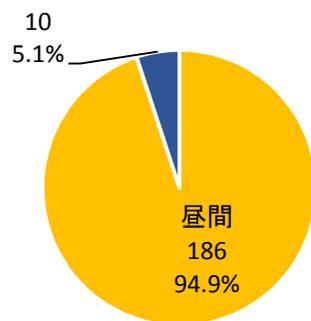
＜重傷事故＞



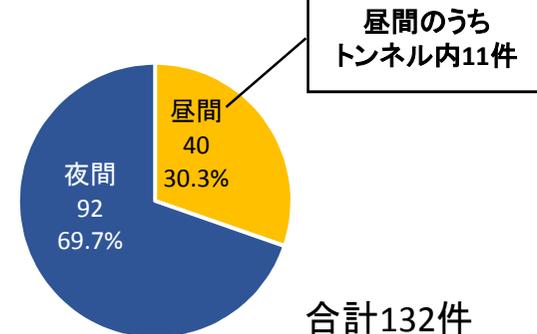
合計 206件

昼夜別事故類型別の死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)

＜単独事故＞



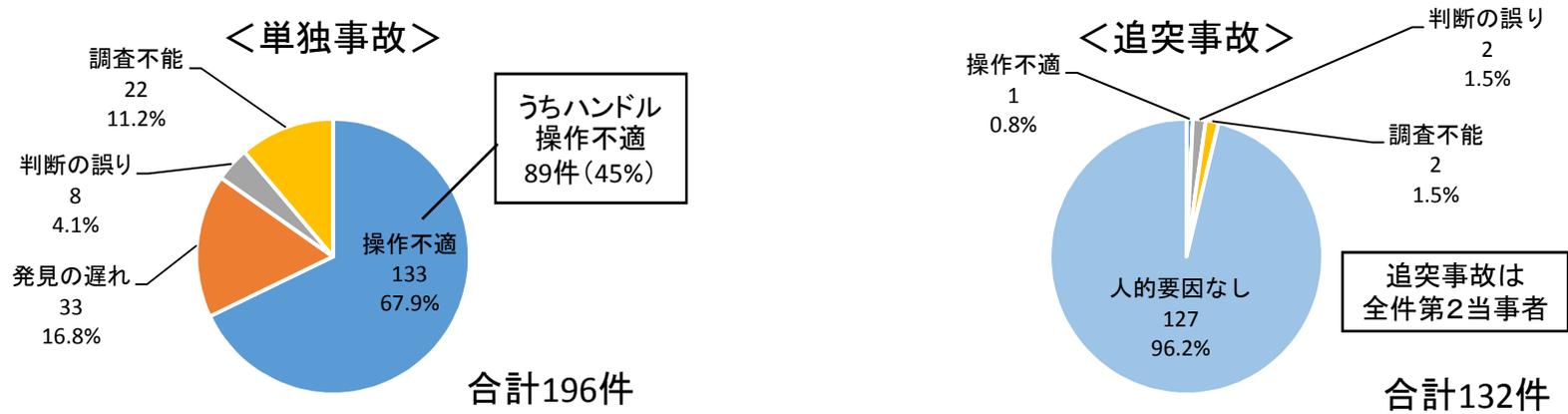
＜追突事故＞



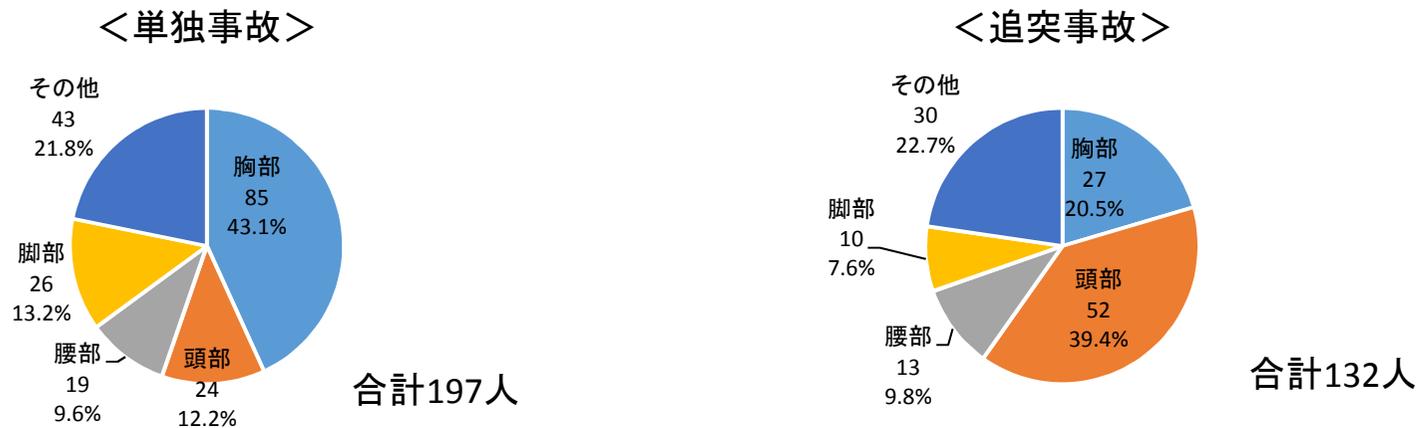
# 4 農耕作業用自動車の交通事故

## ～ 事故類型別の人的要因別人身損傷主部位別発生状況 ～

事故類型別の人的要因（農耕作業用自動車側）別  
死亡・重傷事故件数（平成27年～令和元年合計）



事故類型別人身損傷主部位別の死者・重傷者数  
（平成27年～令和元年合計）

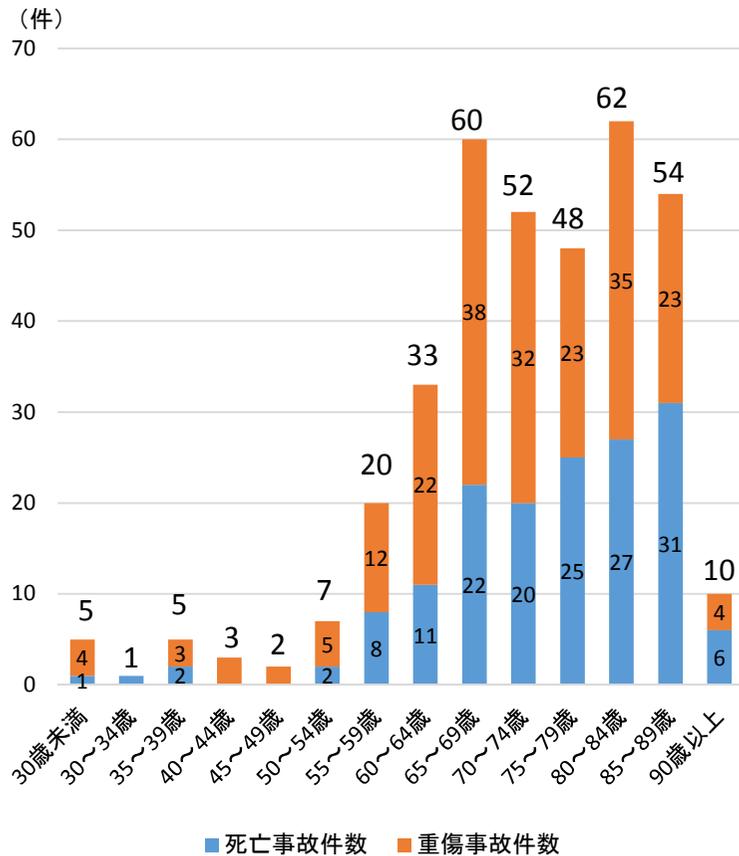


(注) ・「その他」には、腹部、頸部、腕部等が含まれる。

# 5 農耕作業用自動車の交通事故

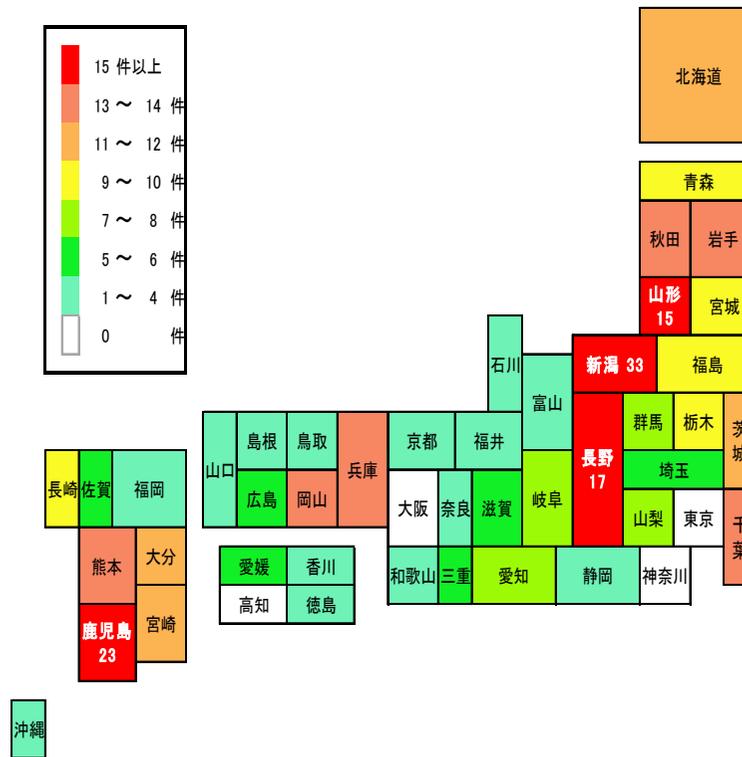
## ～ 運転者の年齢層別発生件数、都道府県別発生件数 ～

運転者の年齢層別死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)



合計 362件

都道府県別死亡・重傷事故発生状況  
(平成27年～令和元年合計)



合計 362件

都道府県別死亡・重傷事故件数  
(平成27年～令和元年合計)

都道府県	死亡事故	重傷事故	死亡重傷事故
北海道	7	5	12
青森	3	7	10
岩手	5	8	13
宮城	2	7	9
秋田	6	7	13
山形	6	9	15
福島	4	5	9
茨城	8	4	12
栃木	4	6	10
群馬	4	3	7
埼玉	3	3	6
千葉	2	12	14
東京	0	0	0
新潟	12	21	33
富山	0	0	0
石川	6	7	13
福井	5	2	7
山梨	8	9	17
長野	0	2	2
静岡	1	3	4
愛知	0	1	1
岐阜	1	1	2
三重	4	3	7
滋賀	6	2	8
京都	4	2	6
大阪	4	2	6
奈良	4	2	6
和歌山	1	3	4
徳島	0	0	0
香川	6	8	14
愛媛	0	1	1
高知	0	3	3
福岡	1	2	3
佐賀	6	7	13
長門	3	2	5
山口	3	1	4
徳島	1	2	3
香川	2	1	3
愛媛	3	2	5
高知	0	0	0
福岡	3	1	4
佐賀	1	5	6
長門	4	5	9
熊本	4	9	13
大分	9	3	12
宮崎	2	9	11
鹿児島	7	16	23
沖縄	1	1	2
合計	156	206	362

# 農耕作業用自動車の交通事故

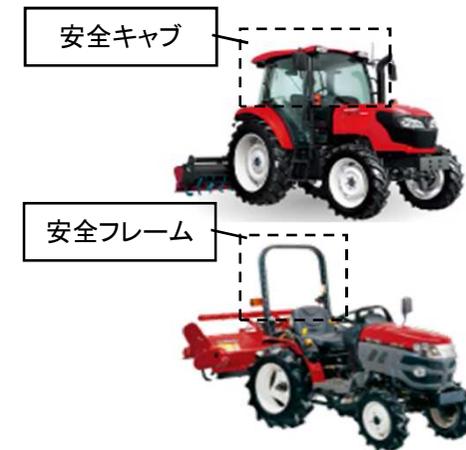
## ～ 安全対策 ～

### ◇ 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

- ・ 農耕作業用自動車に関係する交通死亡事故は単独事故が多く、ハンドルやブレーキ操作の誤りによって発生しているので、道路状況等に応じた確実な運転操作を行う必要がある。
- ・ 農作業の前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと急旋回して路外逸脱等につながる恐れがあるため、道路走行時は必ず左右のブレーキを連結する必要がある。

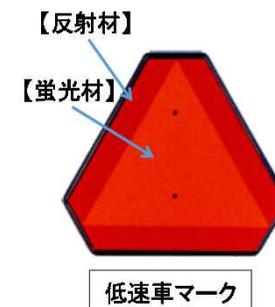
### ◇ 安全装備(安全キャブ・フレーム)の設置とシートベルトの着用

- ・ 農耕作業用自動車の転落や横転時に車体の下敷きになる交通事故の防止には、車体に安全キャブ・フレームを装備することが効果的であることから、なるべく安全キャブ・フレームの装備が整った農耕作業用自動車を使用する必要がある。
- ・ 車体から投げ出されないよう、シートベルトを着用する必要がある。  
また、頭部保護のためヘルメットを着用する必要がある。



### ◇ 車体後部に低速車マークの取り付けや反射材の貼付

- ・ 追突事故の多くは夜間に発生していることから、後続車から見えやすい位置に「低速車マーク」の取り付けや「反射材」を貼付する必要がある。
- ・ 道路を走行する前に「低速車マーク」や「反射材」が泥で汚れたり、ロータリ一部等で隠れていないか確認する必要がある。



装着時